

(参考4)

下水道事業のあらまし

令和5年度



鹿沼市上下水道部

もくじ

1. 下水道事業のあゆみと概要	1
(1) 下水道事業のあゆみと概要	
ア 公共下水道	
イ 特定環境保全公共下水道	
ウ 農業集落排水	
エ 地域下水処理施設	
オ 公共設置型浄化槽	
2. 下水道事業の状況	3
(1) 普及状況	
(2) 公共下水道処理区域	
(3) 職員と組織	
(4) 公共下水道雨水計画	
(5) 都市下水路	
3. 施設の概要	5
(1) 処理施設の概要	
(2) 敷地内の主要な施設	
(3) 管渠延長	
4. 処理水状況と普及率の推移	8
(1) 処理水量一覧	
(2) 月別処理水量	
(3) 処理水量の分析	
ア 一日あたりの処理水量	
イ 有収率	
(4) 生活排水処理人口普及率の推移	
(5) 生活排水処理人口水洗化率の推移	
5. 下水道使用料	10
6. 汚水処理原価及び使用料単価	11
(1) 汚水処理原価	
(2) 使用料で賄うべき汚水処理原価	
(3) 使用料単価	

1. 下水道事業のあゆみと概要

(1) 下水道事業のあゆみと概要

ア 公共下水道

公共下水道事業は、黒川処理区と栗野処理区の2処理区がある。昭和47年（1972）年度に旧鹿沼市の黒川右岸市街地222.7haを事業計画に位置付けて事業に着手した。その後、昭和51（1976）年6月に黒川終末処理場の一部供用を開始し、事業進捗に合わせて事業計画区域を拡大してきた。栗野処理区は、平成4（1992）年度に旧栗野町の中心部48haを事業計画に位置付けて事業に着手し、平成10（1998）年3月に栗野水処理センターの一部供用を開始して、現在、整備はほぼ完了している。

雨水整備事業については、全体計画区域1,968ha（26排水区）のうち、市街地中心部や低地部等で浸水被害が発生している地区を優先的に整備するものとして、1,126.8ha（16排水区）を事業計画に位置付け、逐次整備を進めている。

公共下水道事業の概要

(令和6年3月31日)

建設事業開始年月日	昭和47年4月1日	整備区域内人口	60,700人
供用開始年月日	昭和51年6月1日	水洗化人口	57,889人
法適用年月日	令和2年4月1日	普及率	65.00%
全体計画年次	令和7年	水洗化率	95.40%
事業計画年次	令和6年	污水管敷設延長	394.3km
全体計画面積	1,715ha	雨水管敷設延長	48.1km
事業計画面積	1,715ha	終末処理場数	2箇所
整備済（供用開始）面積	1,625ha	全体計画処理能力	42,800m ³ /日
行政人口	93,411人	事業計画処理能力	42,800m ³ /日
全体計画人口	60,500人	現在処理能力	42,800m ³ /日
事業計画人口	60,500人	晴天日最大処理水量	40,430m ³ /日

イ 特定環境保全公共下水道

特定環境保全公共下水道事業は、古峰原処理区と西沢処理区の2処理区がある。古峰原処理区は、古峯神社及び周辺集落の環境改善と、一級河川大芦川への汚濁負荷の低減を目的として平成14（2002）年度に新規採択を受け事業に着手した。また、西沢処理区は、南摩ダムの建設に伴い水源地域の水質保全が急務となったことから、平成15（2013）年度に新規採択を受け事業に着手した。

特定環境保全公共下水道事業の概要

(令和6年3月31日)

建設事業開始年月日	平成16年1月21日	整備区域内人口	1,641人
供用開始年月日	平成17年3月31日	水洗化人口	1,401人
法適用年月日	令和2年4月1日	普及率	1.80%
全体計画年次	令和7年	水洗化率	85.40%
事業計画年次	令和6年	污水管敷設延長	21km
全体計画面積	66ha		
事業計画面積	66ha	終末処理場数	2箇所
整備済（供用開始）面積	65ha	全体計画処理能力	1,340m ³ /日
行政人口	93,411人	事業計画処理能力	1,340m ³ /日
全体計画人口	1,950人	現在処理能力	1,340m ³ /日
事業計画人口	1,950人	晴天日最大処理水量	622m ³ /日

ウ 農業集落排水

農業集落排水事業は、農業振興地域内における農業用排水の汚濁防止及び生活環境の改善を図るとともに、公共用水域の水質保全に寄与するため、下南摩地区、酒野谷地区、菊沢西地区および北半田地区の4地区を対象に事業を展開しており、いずれも整備は完了している。

農業集落排水事業の概要

(令和6年3月31日)

地区	下南摩	酒野谷	菊沢西	北半田
事業着手年度	平成6年	平成8年	平成15年	平成2年
計画処理面積	49.0ha	40.0ha	62.5ha	30.0ha
計画人口				
定住	1,179人	929人	1,306人	1,057人
流入	141人	101人	174人	63人
全体	1,320人	1,030人	1,480人	1,120人
計画戸数	270戸	211戸	342戸	250戸
整備区域内人口	724人	624人	912人	662人
水洗化人口	660人	550人	711人	636人
水洗化率	91.2%	88.1%	78.0%	96.1%
計画日平均汚水量	357m ³ /日	279m ³ /日	400m ³ /日	303m ³ /日

エ 地域下水処理施設

流通機能の向上と道路交通の円滑化を図るため、計画決定された流通業務団地内における汚水の処理について、公共用水域の水質改善に寄与するため、整備された。

地域下水処理施設の概要

(令和6年3月31日)

地区	流通センター
供用開始年月日	昭和63年4月1日
計画処理面積	47.3ha
計画処理人口	7,000人
計画日平均汚水量	1,200m ³ /日

オ 公共設置型浄化槽

水源地域住民の生活環境の改善を図るとともに、流域全体の水質保全に寄与するため、合併浄化槽を設置した。

公共設置型浄化槽の概要

(令和6年3月31日)

地区	上南摩	東大芦
設置数	80基	63基
管理数	77基	61基

2. 下水道事業の状況

(1) 普及状況

(令和6年3月31日現在)

行政区域内人口 (人)
93,411

	普及人口 (人)	普及率 (%)	水洗化人口 (人)	水洗化戸数
公共下水道	60,700	65.0	57,889	25,303
特定環境保全公共下水道	1,641	1.8	1,401	636
農業集落排水	2,922	3.1	2,557	981
合併浄化槽	19,891	21.3	—	—

生活排水処理人口普及率 (%)	91.2
-----------------	------

(2) 公共下水道処理区域

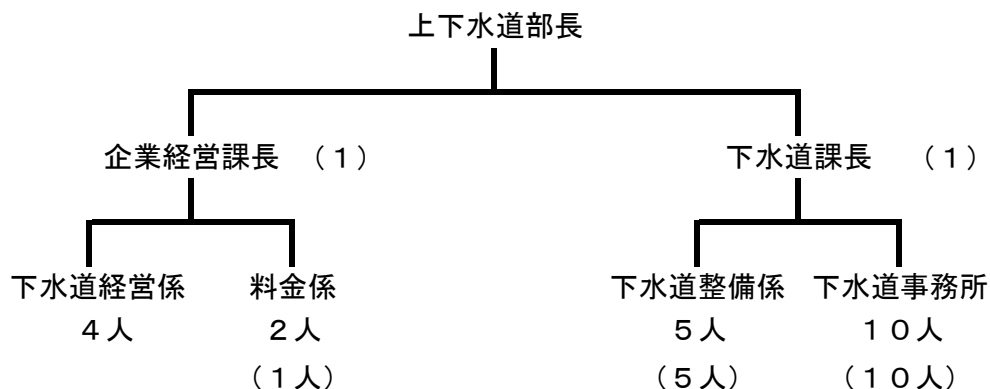
(令和6年3月31日現在)

御成橋町1丁目	万町	坂田山3丁目	幸町2丁目
御成橋町2丁目	文化橋町	坂田山4丁目	緑町1丁目
泉町	朝日町	玉田町	緑町2丁目
睦町	上田町	武子	緑町3丁目
戸張町	末広町	下武子町	西茂呂1丁目
千手町	東末広町	仁神堂町	西茂呂2丁目
上材木町	中田町	千渡	西茂呂3丁目
天神町	下横町	上日向	西茂呂4丁目
久保町	下田町1丁目	草久	栄町1丁目
銀座1丁目	下田町2丁目	村井町	栄町2丁目
銀座2丁目	貝島町	上殿町	栄町3丁目
今宮町	上野町	樅山町	油田町
仲町	府所町	奈佐原町	西沢町
麻苧町	府中町	上石川	上南摩町
石橋町	府所本町	茂呂	旭が丘
下材木町	西鹿沼町	晃望台	榆木町
寺町	日吉町	東町1丁目	大和田町
蓬萊町	花岡町	東町2丁目	口栗野の一部
三幸町	坂田山1丁目	東町3丁目	
鳥居跡町	坂田山2丁目	幸町1丁目	

(3) 職員と組織

(令和6年3月31日現在)

事務	技術	技能労務職	会計年度任用職員	合計
9	8	4	3	24



※ () は下水道事業会計から給与が支払われている人数

(4) 公共下水道雨水計画

(令和6年3月31日現在)

全体計画		事業計画		累計整備 (供用済) 面積 (ha)
面積 (ha)	排水区数	面積 (ha)	排水区数	
1,968.0	26	1,126.8	16	623.8

全体計画・事業計画の概要

項目	全体計画		事業計画	
計画目標年次	令和 8 年		令和 7 年	
雨水流出算定式	合理式 $Q = I / 360 \cdot C \cdot I \cdot A$			
降雨強度式	7 年確率 $I_7 = 5,700 / (t + 35)$ (60mm/時)			
排水区名	面積 (ha)	流出係数	面積 (ha)	流出係数
千 手 排 水 区	67.40	0.55	67.40	0.55
朝 日 排 水 区	108.60	0.60	108.60	0.60
中 央 排 水 区	81.40	0.55	81.40	0.55
日 吉 排 水 区	52.50	0.50	52.50	0.50
西 鹿 沼 排 水 区	28.60	0.55	28.60	0.55
富 士 山 排 水 区	117.10	0.55	117.10	0.55
玉 田 排 水 区	75.40	0.55	75.40	0.55
押 原 第 一 排 水 区	33.00	0.55	—	—
押 原 第 二 排 水 区	46.70	0.55	—	—
樅 山 排 水 区	52.00	0.55	—	—
榆 木 排 水 区	58.00	0.55	—	—
御 成 橋 排 水 区	54.00	0.55	12.90	0.55
仁 神 堂 排 水 区	15.00	0.55	15.00	0.55
府 中 排 水 区	23.00	0.55	23.00	0.55
府 所 排 水 区	80.70	0.55	57.10	0.55
貝 島 排 水 区	205.00	0.55	205.00	0.55
千 渡 第 一 排 水 区	87.30	0.50	49.40	0.50
千 渡 第 二 排 水 区	148.10	0.50	148.10	0.50
千 渡 東 排 水 区	29.20	0.50	—	—
茂 呂 排 水 区	32.50	0.55	32.50	0.55
茂 呂 南 排 水 区	52.80	0.55	52.80	0.55
北 犬 飼 第 一 排 水 区	266.00	0.50	—	—
北 犬 飼 第 二 排 水 区	23.70	0.50	—	—
北 犬 飼 第 三 排 水 区	17.00	0.50	—	—
工 業 団 地 排 水 区	135.00	0.50	—	—
流 通 団 地 排 水 区	78.00	0.50	—	—
計	1,968.00	—	1,126.80	—
雨水ポンプ場	—		—	
雨水調整池	千渡雨水調整池		千渡雨水調整池	

(5) 都市下水路

下水路名	都市下水路指定年	計画集水面積 (ha)	計画延長 (m)	公共雨水幹線名
戸張	S28	36	521	千手雨水第一幹線
坂田	S33	55	528	雨水管に切り替え
鹿沼	S46	257	9,480	汚水管に切り替え
深津	S40	155	1,710	
貝島	S40	154	3,030	貝島雨水第一幹線

3. 施設の概要

(1) 処理施設の概要

(令和6年3月31日現在)

	黒川終末処理場	栗野水処理センター
敷地面積 (ha)	8.00	1.57
計画放流水質	BOD 15mg/L	BOD 15mg/L
処理方法	標準活性汚泥法	オキシデーションディッチ法
処理能力 晴天日最大 (m³)	40,800	2,000
計画処理人口 (人)	58,000	2,500
計画下水量 (日最大)	34,800m³/日	1,090m³/日
流入水質	BOD 186mg/L, SS 156mg/L	BOD 253mg/L, SS 197mg/L

	古峰原水処理センター	西沢水処理センター
敷地面積 (ha)	0.12	0.50
計画放流水質	BOD 15mg/L	BOD 15mg/L
処理方法	膜分離活性汚泥法	オキシデーションディッチ法
処理能力 晴天日最大 (m³)	240	1,100
計画処理人口 (人)	50	1,900
計画下水量 (日最大)	230m³/日	790m³/日
流入水質	BOD 191mg/L, SS 187mg/L	BOD 243mg/L, SS 190mg/L

(2) 敷地内の主要な施設

黒川終末処理場

(令和6年3月31日現在)

施設の名称	個数	構造	能力
汚水沈砂池 (管理棟内)	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷約650m³/m²・日
主ポンプ (管理棟内)	4台	水中ポンプ、立軸渦巻ポンプ	約18m³/分以上
汚水沈砂池 (第2ポンプ場)	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷約2,390m³/m²・日
主ポンプ (第2ポンプ場)	4台	水中ポンプ	約27m³/分以上
最初沈殿池	5系列	平行流短形池、鉄筋コンクリート造り	水面積負荷約50m³/m²・日
反応タンク	6系列	嫌気-好気式押出流池、鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約8時間
ブロー	4台	ターボブロー	風量 約160m³/分以上
最終沈殿池	6系列	平行流短形池、鉄筋コンクリート造り	水面積負荷約20m³/m²・日
塩素混和池	2池	多列迂回流式矩形池、鉄筋コンクリート造り	接触時間 約15分以上
汚泥濃縮槽	5槽	重力式円形放射流槽、鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 約60kg/m²・日
機械濃縮装置	2台	機械濃縮装置、鉄筋コンクリート造り	約20時間/日
汚泥消化槽	5槽	嫌気性加温式単段消化、鉄筋コンクリート造り	消化日数 約25日
ガス貯留タンク	1基	乾式	容量 1,000m³×2基
汚泥洗浄槽	2槽	円形二段向流式、鉄筋コンクリート造り	容量 約120m³
汚泥貯留槽	3系列	矩形、鉄筋コンクリート造り	容量 約760m³
汚泥脱水機	3台	遠心脱水機	約15m³/時間・台×2台
本館	1棟	鉄筋コンクリート造り	
汚泥処理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	
水処理施設電気室	1棟	鉄筋コンクリート造り	
塩素滅菌池室	1棟	鉄筋コンクリート造り	
機械濃縮棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	

栗野水処理センター

(令和6年3月31日現在)

施設の名称	個数	構造	能力
流入管渠	1式	鉄筋コンクリート造り	満管流量 0.110m³/秒
主ポンプ	3台	水中汚水ポンプ	揚水量 約1.4m³/分・台
オキシデーションディッチ	2池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約32時間
最終沈殿池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷約6m³/m²・日
塩素接触タンク	1槽	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15分以上
汚泥濃縮槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約17時間
汚泥貯留槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	貯留時間 約7日
汚泥脱水機	1台	遠心脱水機	運転時間 約3時間
管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	
汚泥棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	
放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り	

古峰原水処理センター

(令和6年3月31日現在)

施設の名称	個数	構造	能力
流入管渠	1式	塩化ビニル管	流量 約0.003m ³ /秒
マンホールポンプ	2台	水中ポンプ	揚水量 約0.3m ³ /分以上
流量調整槽	1式	鉄筋コンクリート造り	容量 約150m ³ 以上
無酸素槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	処理能力 90m ³ /日
好気槽	2槽	鉄筋コンクリート造り	処理能力 90m ³ /日
汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約3日程度

西沢水処理センター

(令和6年3月31日現在)

施設の名称	個数	構造	能力
流入管渠	1式	塩化ビニル管	満管流量 0.047m ³ /秒
主ポンプ	2台	水中汚水ポンプ	揚水量 約1.6m ³ /分以上
オキシデーションディッチ	1池	鉄筋コンクリート造り	滞留時間 約24時間
最終沈殿池	1池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約8m ³ /m ² ・日
塩素接触タンク	1槽	鉄筋コンクリート造り	接触時間 15分以上
汚泥濃縮槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	固形物負荷 30kg/m ² ・日
汚泥貯留槽	1槽	鉄筋コンクリート造り	貯留時間 約5日
管理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り	
放流渠	1式	鉄筋コンクリート造り	

縦山中継ポンプ場

(令和6年3月31日現在)

施設の名称	個数	構造	能力
沈砂池	2池	鉄筋コンクリート造り	水面積負荷 約1,300m ³ /m ² ・日
ポンプ	3台	水中ポンプ	約2.5m ³ /分×3台
上屋	1棟	鉄筋コンクリート造り	

(3) 管渠延長

(令和6年3月31日現在)

公共下水道污水管

(単位:m)

処理区	コンクリート管	塩ビ管	その他	計
黒川	236,714	118,621	19,126	374,461
粟野	1,568	18,217	19	19,804
古峰原	0	654	73	727
西沢	0	20,277	0	20,277
計	238,282	157,769	19,218	415,269

農業集落排水污水管

(単位:m)

処理区	コンクリート管	塩ビ管	その他	計
下南摩	0	19,001	0	19,001
菊沢西	0	29,324	0	29,324
酒野谷	0	16,845	0	16,845
北半田	0	8,623	7	8,630
計	0	73,793	7	73,800

雨水管

(単位:m)

処理区	コンクリート管	開渠	その他	計
鹿沼	39,717	5,790	2,585	48,092

4. 処理水状況と普及率の推移

(1) 処理水量一覧

(単位:m³)

年間汚水処理 水量	有収水量				不明水量
	全体	公共下水道	特定環境公共下水道	農業集落排水	
10,861,045	6,431,915	6,021,510	137,832	272,573	4,429,130

(2) 月別処理水量

(単位:m³)

4月	755,739	10月	808,157		
5月	1,111,652	11月	698,221		
6月	1,433,870	12月	699,407		
7月	1,135,179	1月	680,176		
8月	1,148,690	2月	621,794		
9月	988,044	3月	780,116	合 計	10,861,045

(3) 処理水量の分析

(単位:m³)

ア 一日あたりの処理水量

一日処理能力	一日最大処理水量	一日平均処理水量	一日最大処理水量(晴天時)	一日平均処理水量(晴天時)
38,522	68,970	29,675	46,935	25,731

イ 有収率

年間総処理水量(m ³)	年間有収水量(m ³)	有収率(%)
10,861,045	6,431,915	59.2

(4) 生活排水処理人口普及率の推移

年度	行政区 域内人 口(人)	普及人口(人)及び普及率									
		下水道				下水道類似施設				合計	
		公共下水道	特定環境保全公共下水道			農業集落排水		合併処理浄化槽			
2	96,040	60,879	63.4%	1,763	1.8%	3,130	3.3%	19,070	19.9%	84,842	88.3%
3	95,117	60,850	64.0%	1,700	1.8%	3,104	3.3%	19,481	20.5%	85,135	89.5%
4	94,182	60,453	64.2%	1,654	1.8%	3,006	3.2%	19,736	21.0%	84,849	90.1%
5	93,411	60,700	65.0%	1,641	1.8%	2,922	3.1%	19,891	21.3%	85,154	91.2%

※普及率＝(普及人口／行政区域内人口)×100

(5) 生活排水処理人口水洗化率の推移

年度	行政区 域内人 口(人)	水洗化人口(人)及び水洗化率									
		下水道				下水道類似施設				合計	
		公共下水道	特定環境保全公共下水道			農業集落排水		合併処理浄化槽			
2	96,040	57,543	94.5%	1,452	82.4%	2,723	87.0%	19,070	－	80,788	95.2%
3	95,117	57,614	94.7%	1,416	83.3%	2,693	86.8%	19,481	－	81,204	95.4%
4	94,182	57,149	94.5%	1,371	82.9%	2,641	87.9%	19,736	－	80,897	95.3%
5	93,411	57,889	95.4%	1,401	85.4%	2,557	87.5%	19,891	－	81,738	96.0%

※水洗化率＝(水洗化人口／普及人口)×100

5. 下水道使用料

公共下水道使用料・特定環境保全（西沢地区・古峰原地区）公共下水道使用料

（令和6年3月31日現在／上段：税抜、下段（）：税込）

種別		区分	汚水量	使用料
公共下水道 特定環境保全	一般用	基本使用料 (1カ月につき)	10立方メートルまで	1,100円 (1,210円)
		超過使用料 (1立方メートルにつき)	11立方メートルから 20立方メートルまで	130円 (143円)
			21立方メートルから 30立方メートルまで	150円 (165円)
			31立方メートルから 50立方メートルまで	170円 (187円)
			51立方メートルから 100立方メートルまで	190円 (209円)
			101立方メートル以上の分	210円 (231円)
	公衆浴 場用	基本使用料 (1カ月につき)	200立方メートルまで	5,000円 (5,500円)
		超過使用料 (1立方メートルにつき)	201立方メートル以上の分	30円 (33円)
流通センター		基本使用料 (1カ月につき)	10立方メートルまで	1,200円 (1,320円)
		超過使用料 (1立方メートルにつき)	11立方メートル以上の分	180円 (198円)

* 自家水使用の場合は、1人当たりの汚水量を7立方メートルとし、家族数を乗じて上水道使用水と同様に使用料を算定する。

農業集落排水処理施設使用料

（令和6年3月31日現在／上段：税抜、下段（）：税込）

基本使用料	人数割
1戸当たり月額 2,200円 （2,420円）	1人当たり月額 500円 （550円）

公共設置型浄化槽使用料

（令和6年3月31日現在／上段：税抜、下段（）：税込）

人槽区分	使用料（1カ月につき）
5人槽	3,800円 （4,180円）
7人槽	4,300円 （4,730円）
10人槽	4,900円 （5,390円）

6. 汚水処理原価及び使用料単価

(1) 汚水処理原価

(1 m³あたりの汚水処理に要した費用)

○算出対象費用の内訳(費目別)

費 目	支 出 額
減価償却費—長期前受金戻入	473,021,086 円
支払利息 (企業債借入分)	127,207,436 円
人件費	84,689,829 円
修繕費	58,574,268 円
動力費	112,091,163 円
薬品費	28,477,190 円
委託料	234,015,890 円
その他諸費	149,789,225 円
合 計	1,267,866,087 円

原 価 額	全体に占める割合
73.54 円	(37.31 %)
19.78 円	(10.03 %)
13.17 円	(6.68 %)
9.11 円	(4.62 %)
17.43 円	(8.84 %)
4.43 円	(2.25 %)
36.38 円	(18.46 %)
23.29 円	(11.81 %)
197.12 円	(100.00 %)

○算出対象費用の内訳(経常経費内訳(長期前受金戻入控除後))

科 目	支 出 額
営業費用	管渠管理費 45,513,273 円
	処理場管理費 432,216,856 円
	ポンプ場管理費 32,112,010 円
	水質規制費 36,201,740 円
	総係費 15,836,045 円
	業務費 53,998,342 円
	減価償却費—長期前受金戻入 473,021,086 円
	資産減耗費 26,565,355 円
	その他営業費用 55,620 円
営業外費用	支払利息 127,207,436 円
	雑支出 25,138,324 円
経常経費 計	1,267,866,087 円

原 価 額	全体に占める割合
7.08 円	(3.59 %)
67.20 円	(34.09 %)
4.99 円	(2.53 %)
5.63 円	(2.86 %)
2.46 円	(1.25 %)
8.40 円	(4.26 %)
73.54 円	(37.31 %)
4.13 円	(2.10 %)
0.01 円	(0.00 %)
19.78 円	(10.03 %)
3.91 円	(1.98 %)
197.12 円	(100.00 %)

○汚水処理原価算出計算式

$$\frac{\text{経常経費—(受託工事費+材料及び不用品売却原価+付帯事業費)} - \text{長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量 (m}^3\text{)}} = \frac{1,765,738,743 - 0 - 0 - 497,872,656}{6,431,915}$$

$$= 197.12 \text{ 円} / \text{m}^3$$

(2) 使用料で賄うべき汚水処理原価

(基準内繰入金控除後の汚水処理原価)

$$150.00 \text{ 円} / \text{m}^3 \text{ (消費税抜き)}$$

費 目	繰 入 額
水質規制費	36,201,740 円
不明水処理費	26,331,087 円
分流式下水道等に要する経費	231,580,412 円
児童手当に王する経費	700,000 円
支払利息に対する繰入金	8,265,328 円
合 計	303,078,567 円

(3) 使用料単価

(1 m³の汚水を処理して得られる収益を表す)

○使用料単価算出計算式

$$\frac{\text{年間下水道使用料}}{\text{年間総有収水量}} = \frac{922,649,940 \text{ 円}}{6,431,915 \text{ m}^3} = 143.45 \text{ 円} / \text{m}^3$$

$$143.45 \text{ 円} / \text{m}^3 \text{ (消費税抜き)}$$